

お元気ですか



# 旭川市議会議員 笠木かおる通信

旭川市豊岡5条9丁目1番2号  
TEL.FAX.0166-32-4863  
kasagi@potato.hokkai.net

ななかまどの実に純白の雪がとても似合っています。早いもので今年も冬将軍の到来です。

皆さまにはお変わりなくお過ごしのこととお慶び申し上げます。

「かおる通信21号」をお届けします。

日々、寒さます季節。この時期は風邪をひかないこと、転ばないことが大切です。どうぞご自愛なされ楽しい毎日を送られますようお祈りいたします。

旭川市議会議員 笠木かおる

## 「励ますつどい」。ありがとうございました。



励ますつどい。会場の花月会館は超満員となりました



私の連合後援会（荻野慶博会長）主催で9月25日、花月会館において「笠木かおる君を励ますつどい」を開催していただきました。当日は夜分にもかかわらず480名もの方々にご出席いただきました。心から厚くお礼申し上げます。

議員としてはまだまだ未熟者ですが、皆様か

らいただいたお励ましを糧として「信頼一番。」を旗印にこれからも全力でがんばります。

今後とも皆様のご指導を心からお願い申し上げます。

## 旭川市長選挙を振り返って

私は今回の市長選挙で現職の菅原功一さんの当選をめざし自分なりに精一杯応援させていただきました。

しかし、結果は227票差という前例のない僅差の再選となりました。いま市民は現状の市政に必ずしも満足していないことが明らかになったといえます。

選挙期間中、「笠木君が菅原さんを応援するとは思わなかった」という話もありましたし、「与党ボケしているんでないか」との厳しい声もいただきました。

確かにこの4年間の菅原市政で反省すべき点は多くあります。

しかし一方で菅原市政は、一部に偏らないバランスのとれた市政運営に努力をしていますし、不十分なながらも市民の声や提言にしっかりと耳を傾けて街づくりをすすめてきていると思います。私は他の3候補に、今後の旭川市の舵取りを任せるという気持ちにはどうしてもなれませんでした。

投票率は47%と低く、投票総数の過半数を菅原市長は確保できなかったのも事実です。この市民意思を私もしっかり受けとめ、今後も市民の目線で市政改革に尽くしたいと気持ちを新たにしています。

市政に携わる者、みんなが今回の選挙結果に謙虚になることこそが、新たな市政改革の第一歩だと思います。



## 地域の総合福祉施設

### 共生園がオープンしました



落成式典で。左から盛永氏・高丸氏・森田氏  
菅原氏・舟橋氏・笠木・半田氏

特別養護老人ホームと身体障害者療護施設「共生園」（半田和子施設長）が11月1日、東旭川町共栄123番地に開設しました。

複合型の総合福祉施設は札幌以北では初の施設です。運営主体は社会福祉法人旭川共生会（舟橋三郎理事長）。

高齢者介護と障害者介護の入所施設のほか、ショートステイ（短期入所）やデイサービス（通所介護）、訪問介護などに対応します。

また、24時間体制で介護相談を無料で受けつけます。

オープンに先立ち10月26日、当施設の見学会と落成披露宴が開催され、菅原功一市長や高丸修旭川商工会議所会頭、森田武千代田市民委員会会長、盛永孝之盛永組社長らが祝辞を述べました。私は当法人の常務理事としてお礼のあいさつをさせていただきました。

高齢者や障害をお持ちの方々が生涯、少しでも安心して暮らすことのできるよう、「共生園」を地域の皆様の手で育て上げていただきたいと思います。

## 共生園



## 第2回パークゴルフ大会 160名が楽しみました



ナイスショット。パークゴルフを楽しみました

第2回笠木かおる杯親睦パークゴルフ大会が8月29日、ぴっぷパークゴルフ場で開催されました。

当日は天候にも恵まれ160名の皆様にプレーを楽しんでいただくことができ、大変嬉しく感謝しています。

また来年も是非開催させていただきたいと思いますので、その際はお元気なお顔で再会できることを楽しみにしています。

男性の優勝者は高橋定さん、女性の優勝者は十亀智恵子さんでした。

来年は統一自治体選挙の年。私も2期目をめざして立起することを決意しました。

2期目は相当厳しい闘いになると覚悟していますが、お蔭様で身体だけは健康です。

少しでも地域や後援会の皆様のお役にたたせていただきたいと、気力と体力の続く限りがんばって参ります。



平成13年度決算などを審議する第3回定例市議会は9月17日から10月10日までの24日間の会期で開かれました。このなかで私は補正予算等審査特別委員会の副委員長の役目を果たさせていただくとともに本会議で「WTO農業本格交渉等に関する要望意見書」を提案、採択され政府に提出することができました。以下、今議会での私の質問要旨をお知らせします。



### 新最終処分場は来年7月供用開始

- (笠木) 芳野に建設中のゴミ最終処分場の進捗状況と供用開始は予定は。
- (答弁) 順調に工事がすすみ、来年7月に供用開始できる。従って中園処分場は来年7月に閉鎖となる。
- (笠木) ゴミの減量化・リサイクルにどう取り組むか。
- (答弁) 事業系ゴミの分別が最大の課題であり、本年中に最終的な考え方をまとめる。
- (笠木) 蛍光かんのリサイクルはいつからできるか。
- (答弁) 今年中に開始したい。

#### 【解説】

江丹別芳野に建設中の最終処分場は今日まで様々な課題を生みましたが来年7月に供用開始することになりました。

同施設は全国的にも1-2を争うほど近代的な設備を整えていますが、地域住民の不安解消のため対策会議を常設し、環境面や安全面に万全を期すことが求められています。

また、ゴミの減量化は焦眉の急であり、特に事業系ゴミを分別し1日も早く生ゴミを埋め立てないことが重要課題となっています。

### 男女共同参画条例を明年はじめに制定めざす

- (笠木) 男女共同参画の推進に関する条例の検討がはじまって2年が経過している。いつ素案をまとめるのか。
- (答弁) 今年中にまとめたい。
- (笠木) 条例案はいつ提出できるか。
- (答弁) 来年の第1回定例市議会に提出したい。



#### 【解説】

菅原市長も制定に強い意欲をもっている男女共同参画の推進に関する条例がいよいよ制定されることになりました。

「社会通念・習慣・しきたり」という概念は急速に変化しており、人間の尊厳や人権、両性の平等が叫ばれる今日、同条例の制定は時機を得たものです。

誰もがわかりやすい条例をつくるのが大切です。

### 介護保険料の引上げを最小限に

- (笠木) 介護保険料を来年から月864円引上げる検討がされているがその根拠はなにか。
- (答弁) 施設サービス、居宅サービスとも利用量が増えるとの推計から検討をしている。
- (笠木) 介護保険事業会計では1億5千万円の不用額がでている。財源調整基金を含めると5億6千万円余となる。基金を取り崩し引上げ幅を最小限に留めるよう再検討を行うべきでないか。
- (答弁) 趣旨を踏まえ、保険料の試算を行なう。



#### 【解説】

介護保険料は3年に一度見直すことが決められていますが、全道的にも8割以上の自治体が引上げを予定しており、引上げ幅をどれだけ圧縮させ市民負担の軽減を図るかが課題となっています。



旭川市は当初、月3,980円の検討をしていましたが、基金の取り崩し等により3,775円に見直しました。

しかし、これでも負担感が強いのしかかり、自治体だけでは解決できないことから、介護保険制度全般の見直しが求められています。

### ポンウシベツ川の暗きょ化を市と土現に要請しました



東旭川から豊岡を渡り牛朱別川につながるポンウシベツ川を埋め立てしてほしいとの声が日増しに強まっています。

11月15日、森田武千代田市民委員会会長、山谷司郎愛宕市民委員会会長、杉下政秀・中沢義弘両地元町内会長の4人と

ともに、旭川市と旭川土木現業所に対し、同川の埋立て工事と道路拡幅工事の早期実施を要請しました。

土現への要請には山本弘市土木部長も同席。地元代表からは「愛宕新川が完成後、ポンウシベツ川の役割は変わった。早急に埋め立てしてほしい」との主張がありました。

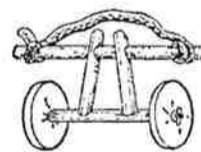
これをうけ、土現の中谷誠企画調整室長は、「今後、河川整備のあり方を検討したい」と約束しました。

同川は愛宕新川完成後、水量も減っており環境面からも改善が求められています。

私は、特に愛宕新川寄りの流域は、河川から下水道へ用途変更し、市の下水道事業により暗きょ化すべきと取り組んでいます。それに関連して道路拡張も可能となります。

### 最近の陳情・要望内容（抜粋）

- 「21世紀の森の湯」の整備とファミリーゾーンへの移設について
- 東旭川地区の下水道整備について
- 町内会館建設用地の取得について
- 第4小学校体育館の改築について
- 就職相談
- 東旭川市営住宅の早期立替について
- 旭川小学校の改築について
- 福祉施設への入所の相談
- 豊岡3-5条7丁目の凍上ヶ所舗装工事について
- 東旭川地区総合センター（仮称）の建設について
- 養豚場からの臭気対策について
- ポンウシベツ川の埋立て工事について
- 東旭川北4丁目通りの早期整備について
- 東地区への保育所整備について



今年の市議会を締めくくる第4回定例市議会は11月26日に告示され12月3日から開会されます。

菅原市長が再選され初めての議会でもあり、あくまでも市民の立場にたち、緊張感をもって質問に臨みたいと思っています。



日頃のご支援に心から感謝します。たゆまぬ努力、全力で働きます。